

# JAL Cargo 空港間転送に平野ロジ「+8」を導入開始

## 羽田～NY線など需要増にもバッチリ対応します

日本航空(JAL)の貨物部門 JAL Cargoは2月1日から、平野ロジスティクスが開発した新型トレーラ「+8」の導入を開始した。この車両は平野ロジが運行し、成田～羽田を中心に国内空港間のOLT(保税)輸送に活用されている。

### 輸送効率向上でCO2排出削減にも貢献

今回、JAL Cargoが導入開始した「+8」(プラスエイト)とは平野ロジがオランダの車両メーカーであるECK社と共同開発した新型トレーラで、荷台部分を2層構造にした超低床タイプのユニークな車両だ。

2層式トレーラの初代モデルとなった「+7」(昨年4月に運行開始)よりも、さらに1基多い14基のLD3コンテナを搭載できるもので一般的なトレーラよりも同コンテナを8基多く積めることから「+8」と呼ばれている。もちろんLD3だけではなく、さまざまなサイズのコンテナやパレットを組み合わせて搭載できる。効率性、環境負荷低減を重視して開発された「+8」は従来のトレーラよりも60%搭載キャパが広がり、CO2排出も60%削減できるという。

スポンサーキャリアのロゴやイメージ等を大胆にデザインした「看板車」は平野ロジの名物となっているが、この「+8」にはJAL CARGOのロゴがデザインされている。通常の看板車ではそのスポンサー以外の貨物運ぶこともあるが、この「+8」はJALとの特別契約によりJALの貨物だけを専門に運ぶものとなっている。さらに、このトレーラのナンバーはJALのコードである「131」となっており、



運行開始日となった2月1日、羽田の東京国際エアカーゴターミナル(TIACT)で初めてこのトレーラと対面したJAL関係者は平野ロジの粋な計らいに顔をほころばせた。

この日、TIACTではバンコクとシンガポールから到着した貨物を積んだ96パレットやLD3コンテナなどの積み込み作業を行った。貨物が満載となったトラックは助手席に山村毅 JAL 執行役員・貨物郵便本部長を乗せ(=下写真)、成田空港第5貨物ビルまで走行した。



成田で到着を待ち受けたJALカーゴサービスのスタッフはチームワークよく荷降ろし作業を行った後、トラックの前で山村本部長と平野ロジの益子研一・営業部長を囲んで記念撮影した。

JALはいよいよ4月1日(土)から羽田～ニューヨーク(JFK)線を開設するが、「+8」は羽田～成田間のOLT輸送の主役としてますます活躍することになりそうだ。

SPACE NOW



LD3 コンテナ 14 台搭載可能

## +7 に続き +8 も運行開始!

OLT Innovator, Hirano Logistics  
新しい輸送の形を提案します。



LD3 コンテナ 13 台搭載可能



**株式会社 平野ロジスティクス**  
Hirano Logistics Corporation

本社 078-994-0069 関東支店 0476-35-3600 東京営業所 03-6382-7768 東海支店 0538-42-9480  
 中部支店 0569-38-7208 関西支店 072-463-7455 神戸営業所 078-965-0918 福岡営業所 092-586-8915  
<http://www.hirano-logistics.com>



特定保税運送者